第２回「ベスト証券人章」の受章者の決定について

日証協・平 22．7．1

本協会は、証券市場又は金融商品取引業にかかわる人の長年にわたる功績をたたえ、金融商品取引業にかかわる人々の意識の高揚を図り、広く国民に金融商品取引業に対する理解を促すとともに、証券市場及び金融商品取引業の健全な発展に貢献するため、表彰制度（「ベスト証券人章」）を設けております。

去る６月 17 日、別紙のとおり５名の受章者の皆様にお集まりいただき、第２回「ベスト証券人章」の表彰式を行い、「ベスト証券人章」を授与いたしました。

（ベスト証券人章　授与式）

前列左から、受章者の 岩瀬　正 氏、岡宮 照行 氏、後藤　毅 氏、日野 正晴 氏、水口 弘一 氏

後列左から、本協会　大久保専務理事、安東会長、増井副会長

別紙

平成22年度　第二回　ベスト証券人章　受章者

氏　　名		受章理由（功績）
岩瀬（イワセ）　正（タダシ） 79歳 新日本(現みずほ)証券株式会社　元代表取締役会長		同氏は、銀行（旧日本興業銀行）の役員退任後、証券業務歴13年5ヵ月と経営の第一線で活躍された。本協会では、会員理事、副会長及び政策委員会委員長を歴任され、当時の政府税調特別委員等の公職を通じて投資家の視点に立った証券税制の整備に尽力された。加えて、日本投資者保護基金の設立準備会座長など同基金の創設や本協会の運営の基盤に係る制度整備にも尽力された。
岡宮（オカミヤ）　照行（テルユキ） 72歳 長野証券株式会社 代表取締役会長		同氏は、証券業務歴が49年5ヵ月と長く、また経営の第一線で長期にわたり活躍され、現在も会長職にある。また1984年以降現在まで、一部の期間を除き、理事、監事をはじめ、旧政策委員会、旧研修委員会、旧店頭登録委員会などの委員会委員や、東京地区評議委員会委員など多くの役職を歴任され、長期間にわたり本協会の業務運営に尽力されている。
後藤（ゴトウ）　毅（ツヨシ） 70歳 荘内証券株式会社 代表取締役会長		同氏は、証券業務歴が51年3ヵ月と長く、また経営の第一線で長期にわたり活躍され、現在も会長職にある。本協会では、会員理事や会員監事に就任されたほか、総務委員会委員や証券戦略会議委員として、本協会の運営に幅広く参画されている。加えて、2002年からは東北地区会長として8年間、同地区における普及啓発活動などに取り組み、証券業の発展に尽力されている。
日野（ヒノ）　正晴（マサハル） 74歳 弁護士		同氏は、司法の場で活躍された後、2000年7月初代金融庁長官に就任され金融行政に尽力された。その後弁護士として活躍され、本協会の公益理事、行動規範委員会委員、規律委員会等委員長、NPO法人エイプロシス理事長を歴任されたほか、ＮＰＯ法人証券･金融商品あっせん相談センター理事長に就任され、長期間かつ広範囲にわたり証券市場の健全な発展に貢献されている。
水口（ミナグチ）　弘一（コウイチ） 78歳 経済同友会終身幹事		同氏は、野村證券副社長から野村総合研究所社長等長く経営の第一線で活躍され、この間、政府審議会委員や経済同友会副代表幹事など公職を歴任された。本協会の公益制度発足時の初代公益理事のお一人として、理事会等において大所高所から積極的にご発言いただくなど尽力された。また、前中小企業金融公庫（現日本政策金融公庫）総裁に就任され、日本経済･産業の発展に貢献された。

（敬称略･五十音順）